

# 防災かわら版

2016.7  
第5号

発行元  
佐伯市  
防災危機  
管理課

災害の種類によって  
逃げ方が変わります



地震・建物倒壊の恐れがある場合は、ひとまず  
**公園や空き地など広い場所へ逃げましょう。**

津波・地震のあと、津波の情報が入ったら、  
**とにかく高い場所へ逃げましょう。**



土砂・雨が激しくなる前、明るいうちの早めの避難が大事  
です。土石流の危険地域では、**土砂の流れてくる**

**向きに対して直角方向に逃げましょう。**  
どうしても避難場所への移動が困難場合は、  
**山側から離れた部屋や2階へ逃げましょう。**



水害・土砂災害と同様、早めの避難が大事です。  
どうしても避難場所への移動が困難な場合は、  
**早めに2階へ（平屋の場合は近くの建物へ）**  
逃げましょう。



常日頃から、避難場所を確認し  
て万々に備えましょう。  
非常持出袋（避難グッズ）は準  
備していますか？



## 佐伯市水防訓練を実施

出水期を向かえるに当たり、河川  
の氾濫などによる被害を軽減するた  
め、5月29日（日）池船スポーツ  
公園にて、佐伯市水防訓練を実施し  
ました。

今回訓練に参加したのは、佐伯市  
水防団、佐伯市防災士会など市内の  
団体をはじめ、九州防災エキスパー  
ト会・延岡市など15団体 298  
人です。

訓練は、激しい雨の影響により、  
番匠川の堤防が決壊する恐れがある  
という想定で行われました。



水防団による積み土のう工法

### 警察・消防・南海DMAT 合同訓練の様子



国土交通省佐伯河川国道事務所からの水  
防警報発表を受け、番匠川水防協力会によ  
るブロック投入工法や、大分県土木事務所  
によるラバーマット工法、佐伯警察署・大  
分県警察本部交通機動隊・佐伯市消防署・  
南海DMATによる埋没車両等救出 合同  
訓練などを実施しました。

このほか佐伯アマチュア無線赤十字奉仕  
団の非常通信訓練や、陸上自衛隊湯布院駐  
屯地第132特科大隊と日本赤十字奉仕団  
佐伯支部による炊飯給食搬送訓練なども行  
われました。

当日は本番さながらの大雨となりました  
が、参加者らは緊張感漂う中、迅速な動き  
を見せていました。



詳しくは佐伯市HP内にあります「さいきほっとメールとは」をクリックしてください。

携帯電話やパソコンのメールアドレスを登録した皆さんに、防災情報などをメールで配信する「さいきほっとメール」を配信中です。

登録はお持ちの携帯電話やパソコンから「e@hot.saiiki.jp」へ空メールを送り、折り返し届くメールの案内に従って登録するか左のQRコードを読み込んで登録してください。

さいきほっとメールの登録をお願いします



## 第6回佐伯市消防操法大会

直川方面隊優勝！

佐伯市消防団9方面隊による同大会が行われ、直川方面隊が見事優勝しました。

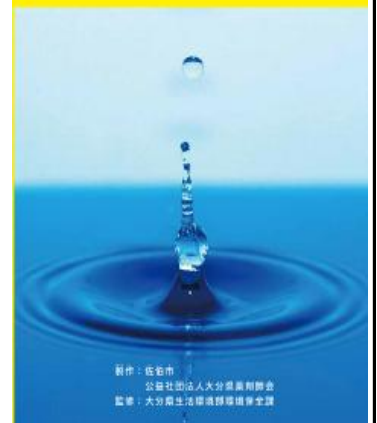
当日は雨上がりで足元の悪い状態ではありましたが、各隊を代表したどの選手も素晴らしい操法を披露しました。

※優勝した直川方面隊は、8月21日に由布市（消防学校）で開催される大分県大会へ佐伯市代表として出場いたします。



佐伯市HPにて、マップの全容をご覧いただけます

### 佐伯市 津波災害等緊急時の生活用水MAP



佐伯市津波災害等緊急時の生活用水マップを作製しました

地震津波等の大規模災害時には、水道の断水によりトイレやお風呂などの生活用水が不足すると言われています。

このたび、多くの皆様方のご協力により、津波災害を想定した海岸部中心の井戸を選定し、マップを作製しました。

各地区公民館等へ配布しておりますので、ご自分のお住まいの地域でもしもの時はどこで生活用水を確保できるか、事前にご確認ください。

また、災害時に飲料水として使用できる貯水槽も掲載していますので、参考にしてください。

※災害時生活用水井戸及び災害時ビル貯水槽の利用については、所有者及び管理者の承諾を得て使用してください。また、災害の状況によっては使用できないこともありますので、ご理解ください。

## 番匠川水系水防災意識社会再構築協議会を設立

番匠川流域において、洪水氾濫が発生することを前提とし、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的として、第1回 番匠川水系水防災意識再構築協議会が開催されました。

協議会は、佐伯市、大分県、気象庁、国土交通省佐伯河川国道事務所等で構成されており、今後5年間で実施するべき取り組み等が協議されます。

協議会の様子

